



初代兵庫県知事伊藤博文書「南山寿」

初代兵庫県知事伊藤博文書「南山寿」  
(兵庫県所蔵)

平成二十年(二〇〇八)六月に個人から寄贈されました。奥書によると、明治三十七年(一九〇四)四月に須磨の旅館で書かれました。この旅館の場所については現在までのところよくわかっていません。南山は、中国陝西省南部の風光明媚な終南山のことです。終南山は、いつまでも崩れない山容を持つことから、これにちなんで長寿を祝う文句として、「南山寿」が用いられました。この語は「詩経」などにも出てきます。

作者の伊藤博文は、天保十二年(一八四二)九月、長州藩領の農民の子として生まれました。父が藩士となったことから、子の伊藤も長州藩士となりました。明治元年(一八六八)一月、外国事務掛として来神し、五月に初代兵庫県知事になります。翌年四月に知事を更迭されますが、その後中央政界で活躍しました。明治十八年(一八八五)から同三十一年(一八九八)にかけて四度内閣総理大臣となり、明治三十八年(一九〇五)には初代の韓国統監となります。そして明治四十二年(一九〇九)十月二十六日、極東問題についてロシアと協議するためにハルビンに來ましたが、駅頭で暗殺されました。この書は伊藤が亡くなる五年前のものです。そして、去年平成二十一年(二〇〇九)は伊藤の没後百年でした。